# 令和2年度 介護のしごと魅力発信等事業 「福祉・介護の体験型・参加型イベント実施事業」 実施概要

株式会社サンケイビルテクノ 2020.9.07 ①事業の目的・ビジョン

## 令和元年度は、体験イベントの実施、番組の制作と放送を中心に 「わかる かわる 介護・福祉」をテーマとした取り組みを実施。





BSフジにて全5回放送!介護・福祉にまつわる 「最新情報」と「明るい話題」をお届けしました







第2回放送「喜びとときめきか ら考えよう」(12月15日放送)





第5回放送「ごちゃまぜ介護」(2 月23日放送)

令和元年度の取り組みから「わかった」ことで「かわった」ことにより生まれた



介護・福祉に対する 自発的参加意識

出演者・イベント参加者





介護・福祉についての 取り組みへの共感

> 協力機関 周囲の企業・団体





かえるのピクルス きもちのいろ

番組に協力いただいた 企業・団体様

福祉高等学校様 介護福祉士養成施設様

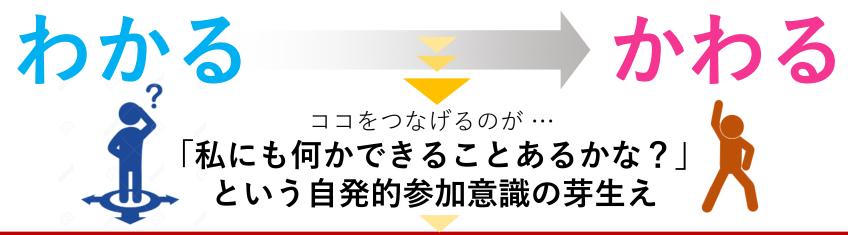


「女子大生の生の声」を お届けするために、

令和元年度の取り組みで獲得できた資産を最大限に活用することで 令和2年度の取り組みでは、イベント参加体験者から周囲の人たちやコミュニティへ 共感いただいた企業様や団体様とも連携しながら「気づきの輪」と「賛同の輪」を広げることで 「自発的参加意識」がより広範囲に広がっていくことを目指します。

介護・福祉の現状や取り巻く環境について

心境が変化し具体的な行動が



実際に「わかった」ことで「かわった」 人たちからの発信

取り組みに共感いただいた 協力機関様・企業様・団体様のご協力

次のステップとなる令和2年度の取り組みでは・・・広範囲の人たち・世の中の人たちを そして、介護・福祉の一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを

前向きに

「かえる」

ことにつながげます。

プロジェクトコンセプト

介護・福祉の未来を明るく・前向きに変えるための資源は、

一人一人の「私にも何かできることあるかな?」という自発的な参加意識です。

令和元年度の取り組みで意識が変わったタレントや学生が自分たちの体験を生かして番組や各イベントを通じて 一人一人が「私にも何かできることはあるかな?」と考えることの大切さを伝えます。

そこで…令和2年度「にっぽんの要」プロジェクトでは、本年度の活動の中心となる 「介護・福祉 かえる委員会」を発足し活動します。

昨年、大きな反響を呼んだこのプロジェクトが

今年も始動開始!

にっぽんの

出演

俳優

介護福祉士・モデル

要潤

上条 百里奈

<要 潤さんからのコメント>
またプロジェクトに参加させていただくこととなり大変楽しみにしています。前回は若者たちが頑張る姿を見て、逆に色々とこちらが学べることがありました。今回は「かえる委員会」のテーマにもあるとおり、さらに踏み込んで、今回の活動・番組を通して世代を限らず、よりたくさんの方たちの意識、介護・福祉の一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことができるように

取り組みたいと思います。



「介護・福祉 かえる委員会」は、昨年放送した番組での様々な体験を通して、介護・福祉の「いま」について「わかった」ことで「かわった」ふたりの学生が発起人となり、一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことを目的として活動します。



事業の目的 様々な若者たちが、介護・福祉について「わかる」ことで 「自分にも何かできることはないだろうか?」とそれぞれの立場で考えることで「かわる」様子を 番組で伝えることによって一部のネガティブなイメージや、 介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことを目指します。

もともと介護・福祉に興味関心がある若者





福祉系高等学校・介護福祉士養成校 の学生たち

あまり介護・福祉と接点がない若者

















「かえる委員会」の活動を通じた学びにより 「わかる」

それぞれの「気づき」

専門職として特別な施設等で業務に 従事するだけではなく、困っている人たちの力になる 方法は実はたくさんあるんだなあ…

介護・福祉に関する問題は決して 他人事ではないのかもしれない…

自分にも何かできることはないだろうかと それぞれの立場で考えることで 「かわる」

若者たちが「わかる」ことで「かわる」様子を番組やサイトで伝えることで 一部のネガティブなイメージや、介護・福祉のこれからを前向きに

「かえる

視聴者も番組 を観ることで 「わかるし 「かわる」こと を追体験する

②事業のKPIおよび成果の測定方法

## 「認知」「興味」「参加」「変容」各フェーズごとの目標達成数を定義します。

# 認知

目標達成数合計2,000万人~



目標達成数合計200万人~

# 参加

目標達成数合計200万人~

変容

目標達成数 合計2万人~ ■本施策の意図などを、SNSなどを含めメディアを通じてリーチさせた人数

番組視聴者(BS) 約39万世帯 約 96万人※1

YouTube 視聴者 <mark>広告</mark> 読売新聞 2,000万人 ※ 2 +その他 <mark>パブリシティ</mark> 100万PV想定 昨年実績:100媒体×1万PV インフルエンサーフォロワー数

- ■石川恋さん インスタ 293,270人 ツイッター118.266人
- ■ティモンディさん ツイッター 62,000人
- ■大学インフルエンサー おおよそ1万人×30人

※1:1回あたりの放送における視聴世帯数約13万世帯×3回で計算。 1世帯の平均人数=2.47人という国の発表から計算

※ 2:発行部数800万部×回読率2.5

■本施策に興味を持ち、公式サイト・youtubeなどをご覧いただいた人数(認知の10%)

公式サイトアクセス数 (YouTube含む)

■リアル :委員会メンバー参加のトークセッション、超福祉展会場参加者数(180名)

■オンライン:BS放送・youtube問わず、本施策で作成した動画視聴者数(興味の10%)

TGCオンライン視聴者数(のべ248万人)

<mark>TGC</mark> オンライン:のべ248万人 +YouTubeアーカイブ視聴者 <mark>超福祉展</mark> オンライン:●万人 (9月7日現在未発表) +YouTubeアーカイブ視聴者

番組視聴者 (BS) 約39万世帯 約 96万人※

番組視聴者 (YouTube) 委員会・番組出演者 40名×3回 +約10名×3回 のべ 150名

■本施策を通じてのアンケートでの回答者の「意識変容比」を算出。 その比率を「参加者数」に掛け合わせた数

TGC

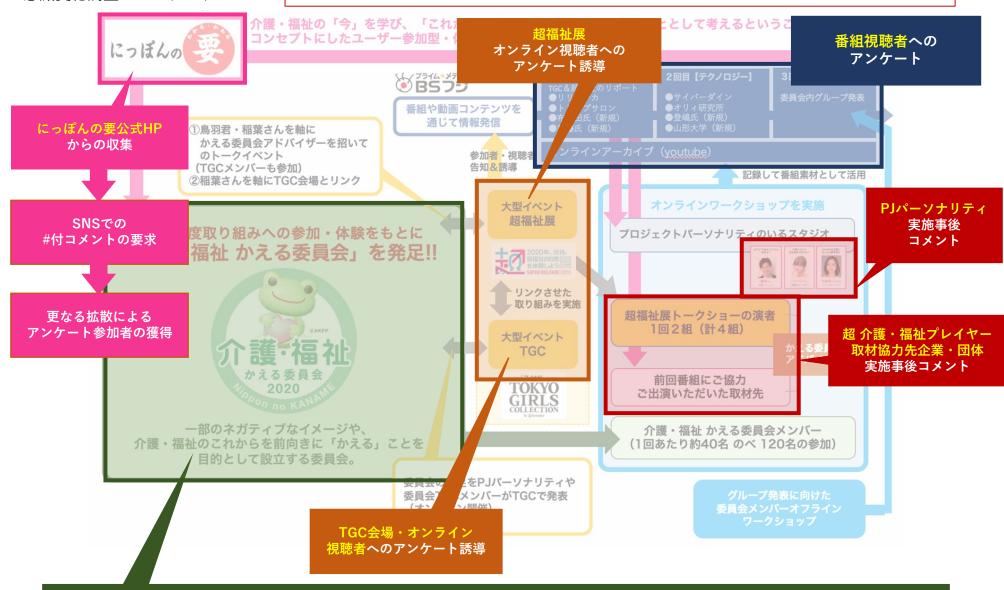
オンライン:のべ248万人 +YouTubeアーカイブ視聴者 超福祉展 オンライン: ●万人 (9月7日現在未発表) +YouTubeアーカイブ視聴者

番組視聴者 (BS) 約39万世帯 約 96万人※

番組視聴者 (YouTube) 委員会・番組出演者 40名×3回 +約10名×3回 のべ 150名

上記合計数 × アンケートでの意識変容比

#### 全国の学校関係者へのアーカイブ視聴・新番組視聴のお願い&アンケートの実施も検討



「かえる委員会」のメンバー(学んでいるメンバー/関心・接点がないメンバー)参加前後の意識変化のアンケート (人数は一回40名 のべ120名にしかならないが実際に「参加した人の意識変容」を調査) ★オンラインワークショップ&番組収録実施ごとに実施することで継続参加による長期的な意識変化を追いかけることが可能 ③事業内での具体的な実施事項 <全体・キャスティング>

プロジェクト全体グランドマップ

鳥羽君・稲葉さんを軸に

のトークイベント

かえる委員会アドバイザーを招いて

(TGCメンバーも参加・オンライン開催)



介護・福祉の「今」を学び、「これから」を明るく・前向きに・自分ごととして考えるということを コンセプトにしたユーザー参加型・体験番組を中心としたプロジェクト。

#### プライム\*メディア BSフジ

番組や動画コンテンツを 通じて情報発信 **1回目【カルチャー】** TGC & 超福祉のリポート

- ●リリムジカ
- ○トリップサロン
- ●布施田氏(新規)●加藤氏(新規)

2回目【テクノロジー】

●サイバーダイン

●山形大学(新規)

オリィ研究所登嶋氏(新規)

- 3回目【まとめ】
- 委員会内グループ発表

告知&誘導

参加者・視聴者 オンラインアーカイブ (youtube)

\_\_\_\_

記録して番組素材として活用

令和元年度取り組みへの参加・体験をもとに 「介護・福祉 かえる委員会 | を発足!!









介護福祉







一部のネガティブなイメージや、 介護・福祉のこれからを前向きに「かえる」ことを 目的として設立する委員会。 大型イベント 超福祉展



リンクさせた 取り組みを実施

大型イベント TGC

TOKYO GIRLS COLLECTION by girlswalker

委員会の発足を超福祉展の内容も振

オンラインワークショップを実施

プロジェクトパーソナリティのいるスタジオ







超福祉展トークショーの演者 1回2組(計4組)

かえる委員会 アドバイザー

前回番組にご協力 ご出演いただいた取材先

介護・福祉 かえる委員会メンバー (1回あたり約40名 のべ 120名の参加)

グループ発表に向けた 委員会メンバーオフライン ワークショップ



介護福祉士・モデル 上条百里奈さん

プロジェクト パーソナリティ



フリーアナウンサー 大慈弥**レイ**さん

番組MC ナレーション







介護・福祉 かえる委員会 発起人

前回のプロジェクトへの参加での様々な体験・経験から自発的な参加意識が芽生えたという 二人の学生が発起人として「介護・福祉 かえる委員会」の活動をを牽引します。



#### 鳥羽 和輝

慶應義塾大学総合政策学部4年/NPO法人ピープルデザイン研究所 運営委員

ダウン症の弟の兄として、選択肢の開拓をテーマに掲げ、人と人とがつながり、誰もが心豊かに暮らす、多様性に寛容な社会の実現に向けた創造実践に取り組む。2018年よりNPO法人ピープルデザイン研究所運営委員として、複数プロジェクトの企画・運営を担当。



#### 介護に興味を持つ同世代を増やしたい

3回もロケに行かせてもらい、介護の現場を生で見られたことは、とても大きな財産になりました。「介護を勉強したい」「介護に関する職に就きたい」と考える同世代の人が増えるよう、「介護の仕事ってステキなんだよ」というメッセージを発信し続けたいと思います。



#### 稲葉 玲衣

上智大学総合人間科学部社会福祉学科4年

大学では主に高齢者福祉の分野を勉強中。「にっぽんの要」に福祉を学ぶ学生として参加し、様々な現場を訪れて介護福祉の"いま"を体験した

## 高齢者と関わる楽しさを実感

学校でも介護を勉強したり、実習に行ったりしていたので、「ロケに行っても、なんとかなるんじゃないか」と思っていたのですが、実際は慣れるまで何もできませんでした…。しかし、いろんな経験を通して「やっぱり、高齢者と関わるのは楽しいな」と実感できたので、介護の道を検討したいです。



本プロジェクト「にっぽんの要」では、今後の日本の未来を担う若者たちこそが、 これからの介護・福祉を明るく前向きに「かえる」ための推進力の「要」であると考えております。 今回の取り組みは、奥山 眞壽美 氏(全国福祉高等学校長会 副理事長・千葉県立松戸向陽高等学校 校長)を はじめとした、福祉高等学校・介護福祉士養成施設などの教育現場の皆様にもご賛同いただき、 学生・生徒の皆様の「介護・福祉 かえる委員会」への参加(各学校5名×5校、のべ75名の参加)、 教員・講師の皆様の豊富なご経験をもとにご意見をいただくなど、全面的にご協力いただけることとなりました。

#### 賛同いただき参加いただく主な教育機関様

「介護福祉士養成施設協会」や「全国福祉高等学校長会」等に加盟している 教育関係団体と今年は連携しながらプロジェクトを進めていきます。

## ■福祉高等学校

- ·神奈川県立津久井高等学校 福祉課
- 千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科

## ■短期大学

· 带広大谷短期大学 社会福祉科介護福祉専攻

## ■専門学校

·日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科

## ■4年制大学

・現在調整中



かえる委員会アドバイザー

オンラインワークショップ&番組への出演を行う「介護・福祉 かえる委員会」のアドバイザーとして参加。 テーマ「介護・福祉とカルチャー」



ミュージック・ファシリテーション リリムジカ

令和元年度取り組み・第1回放送 11月10日放送回にご協力・ご出演



ファッション・靴デザイナー 布施田 祥子さん

新規参加 超福祉展にも出演



訪問美容 トリップサロン(株式会社 un.)

令和元年度取り組み・第2回放送 12月15日放送回にご協力・ご出演



ファッション・バリアフリー デザイナー 加藤 千晶さん

新規参加 超福祉展にも出演

## テーマ「介護・福祉とテクノロジー」



サイバニクス技術 サイバーダイン

令和元年度取り組み・第4回放送 2月2日放送回にご協力・ご出演



VR旅行 登嶋 健太さん

新規参加 超福祉展にも出演



オリィ研究所

分身ロボット

令和元年度取り組み・第4回放送 2月2日放送回にご協力・ご出演



ゲルはチ公 山形大学

新規参加 超福祉展にも出演

※番組にてご紹介するアドバイザーは変更となる場合もございます。

③事業内での具体的な実施事項 <イベント>

大型イベント(1)

## 9月3日に大型福祉イベント「超福祉展」とコラボした企画を実施し、プロジェクトの始動を発表。



2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展(オンライン配信で実施)

障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「心のバリア」を取り除こうというテーマで、 渋谷ヒカリエを中心に毎年開催されている展示会で、今年が最後の開催となりました。

「介護・福祉とカルチャー」「介護・福祉とテクノロジー」をテーマに、

それぞれ超福祉プレイヤーと特別ゲストを招いてトークショーやレクチャー、ディスカッションを実施しました。

#### 9月3日 13:00-15:30 「介護・福祉とテクノロジー」



■特別ゲスト : ティモンディさん

■ファシリテート:鳥羽くん・稲葉さん ■ゲスト : 登嶋健太さん

多田隈理一郎さん

介護予防プログラム「VR旅行」と AIを駆使した本物の犬のように柔らかいという犬型ロボット「ゲルハチ公」の開発者がオンラインで参加。「かえる委員会」委員として番組にも参加予定の学生の鳥羽くん、稲葉さん、そしてティモンディのお二方が介護・福祉とテクノロジーについてセッションしました。





■イベントのオンライン視聴者数:現在正式発表待ち

■YouTubeアーカイブ再生数(9月7日時点):1.100再生

#### 9月3日 15:00-16:30 「介護・福祉とカルチャー」



■特別ゲスト : 石川恋さん

■ファシリテート:鳥羽くん・稲葉さん ■ゲスト : 布施田祥子さん

加藤千晶さん

下肢装具着用時にも履ける、機能とオシャレが両立した靴を プロデュースしている布施田祥子さんと、バリアフリーファッ ションをプロデュースしている加藤千晶さんによるレクチャーを 実施。学生二人とモデルとしても活躍する石川恋さんも交え 介護・福祉とファッションについてのセッションも実施。





■イベントのオンライン視聴者数:現在正式発表待ち

■YouTubeアーカイブ再生数(9月7日時点):670再生

大型イベント②

9月5日に開催された大型ファッション・ライブイベント「東京ガールズコレクション」と コラボした企画を実施し、プロジェクトの始動を発表。



TOKYO 東京ガールズコレクション (オンライン配信で実施) 2005年より開催されている、史上最大級のファッション・ライン

2005年より開催されている、史上最大級のファッション・ライブイベントです。

「東京ガールズコレクション」では、イベントMCの田中みなみさん・NON STYLEさん進行の元、 「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」にも出演する 上条百里奈さん、MCの大慈弥レイさん、 「かえる委員」特別ゲストとしてプロジェクトに参加いただくティモンディさん・ 石川恋さんが登場。メインパーソナリティの要潤さんもVTRで出演し、プロジェクトのPRを実施しました。















■イベント総視聴者数:のべ約248万

·LINE LIVE : 163万 ·You Tube : 85万

Twitterで日本トレンド1位・世界トレンド7位

■YouTubeアーカイブ再生数「にっぽんの要」 パート・9月7日時点:2.100再生

「介護・福祉 かえる委員会」メンバーをリモートで繋いでワークショップを実施。 また、番組ではスタジオに複数のモニターをセットして スタジオのプロジェクトパーソナリティーも参加して収録します。



オンラインイベントは各テーマを設けて2回(+オフライン1回)開催。番組は2020年12月から2月の間に3回BSフジにて放送予定

オンラインイベントは番組テーマに合わせて 3回実施+2回目と3回目の間に委員会内の グループごとにオフラインにて、3回目の発表 内容を検討するワークショップも開催します。



#### 1回目【カルチャー】 TGC&超福祉のリポート

- ●リリムジカ
- ○トリップサロン

#### ●布施田氏(新規) ●加藤氏(新規)

#### 2回目【テクノロジー】

- ●サイバーダイン
- ●オリィ研究所
- ●登嶋氏 (新規)
- 山形大学(新規)

3回目【まとめ】

委員会内グループ発表

③事業内での具体的な実施事項 <周知拡散・参加者拡大> 情報拡散施策:パブリシティの獲得

フジサンケイグループ・読売新聞社が協力。 それぞれの多彩な制作力と発信力などのシナジー効果を最大限に活用します。



## WEBメディア



## 紙媒体



### 放送媒体



- ■インターネットニュース
- ■媒体社SNS など

- ■新聞·雑誌
- ■交通広告 など
  - +

- TV
- ■ラジオ など



複数のターゲットを想定し、紙・電波などの各種媒体へリリース配信

受けが主体となるプレスリリースサイトとは別に攻めのリリース配信を展開します

イベントの参加促進のため2社のグループ力を生かしたアプローチで 宣伝活動や事前事後に各種媒体でニュース化 情報拡散施策:パブリシティ想定メディア

#### ■女性系メディア



#### ■専門メディア



#### ■ 一般メディア



#### ■報道・ニュース系メディア









■昨年露出実績



















※上記ニュースメディアの記事はYahoo!をはじめとしたポータルサイトにも配信され、100件ほどのニュース記事として露出されました。

情報拡散施策:キックオフ時の掲載媒体一覧 (プロジェクト始動告知:9月7日現在)

NO.	媒体名	日付	URL
1	@PRESS(ソーシャルワイヤー)	8月31日	https://www.atpress.ne.jp/news/224274
2	ZAKZAK(産経デジタル)	8月31日	https://www.zakzak.co.jp/eco/news/200831/pri2008310230-n1.html
3	&M(朝日新聞社)	8月31日	https://www.asahi.com/and_M/pressrelease/pre_15665896/
4	SankeiBiz(産経デジタル)	8月31日	https://www.sankeibiz.jp/business/news/200831/prl2008311617186-n1.htm
5	SANSPO.COM(産経デジタル)	8月31日	https://www.sanspo.com/geino/news/20200831/prl20083116170230-n1.html
6	StartHome(キングソフト)	8月31日	http://devhome.kingsoft.jp/news/pr/atpress/224274.html
7	BIGLOBE ニュース	8月31日	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0831/atp_200831_5596041427.html
8	Infoseek ニュース(楽天)	8月31日	https://news.infoseek.co.jp/article/atpress_224274/
9	Mapion(ONE COMPATH)	8月31日	https://www.mapion.co.jp/news/release/ap224274-all/
10	エキサイトニュース	8月31日	https://www.excite.co.jp/news/article/Atpress_224274/
11	NEWSRELEASESE	8月31日	https://newsrelea.se/wXZ8Jx
12	WomanSmartLife	9月1日	https://www.womanapps.net/news.hMR1AIpzSY.367.html
13	Infoseek ニュース(楽天)	9月1日	https://news.infoseek.co.jp/article/angie 307871
14	エキサイトニュース	9月1日	https://www.excite.co.jp/news/article/Leafhide_woman_news_hMR1AlpzSY/
15	めるも	9月1日	https://news.merumo.ne.jp/article/genre/10015207
16	StartHome(キングソフト)	9月1日	http://sp.home.kingsoft.jp/news/life/womanapps/news_hMR1AIpzSY.html
17	gooニュース	9月1日	https://news.goo.ne.jp/article/womanapps/trend/womanapps=20200823=11697.html
18	GREE	9月1日	https://ip.news.gree.net/news/entry/3751766?from ggpnews=top category news 5
19	とれまがニュース	9月1日	https://hoken.toremaga.com/business/news/1626220.html
20	ANGIE	9月2日	https://angie-life.jp/lifework/307871.html?fm=list!
21	エキサイトニュース	9月2日	https://www.excite.co.jp/news/article/Angie_307871/
22	Infoseek ニュース(楽天)	9月2日	https://news.infoseek.co.jp/article/angie 307871/
23	StartHome(キングソフト)	9月2日	https://home.kingsoft.jp/wrapup/beauty/angie/307871.html
24	緑のgoo	9月2日	https://www.goo.ne.jp/green/column/angie 307871.html



介護を他人ごとから自分ごとへ。「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート

2019年にスタートした、福祉・介護の魅力を伝えるプロジ ェクト「介護のしごと魅力発信等事業」。 2年目となる2020年度はオンラインを活用し、介護・福祉の いまを学び、これからについて考えるオンラインイベントが 豊富に予定されています。

「介護のしごと魅力発信等事業」の取り組みや、同プロジェ クトの一環として放映されるBSフジの番組「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福祉」の詳細をまとめました。

#### 「介護のしごと魅力発信等事業」とは

「介護のしごと魅力発信等事業」は介護や福祉を他人ごとではなく、自分ごととして考えるようになることを目指す プロジェクトです。

さまざまなイベントを通して、介護・福祉のネガティブなイメージを払拭し、「あかるく・前向きに・自分ごと」と して考えるきっかけになるような活動を行っています。

#### 「介護のしごと魅力発信等事業」2年目がスタート。東京ガールズコレ クションとのコラボも!

2020年9月2日





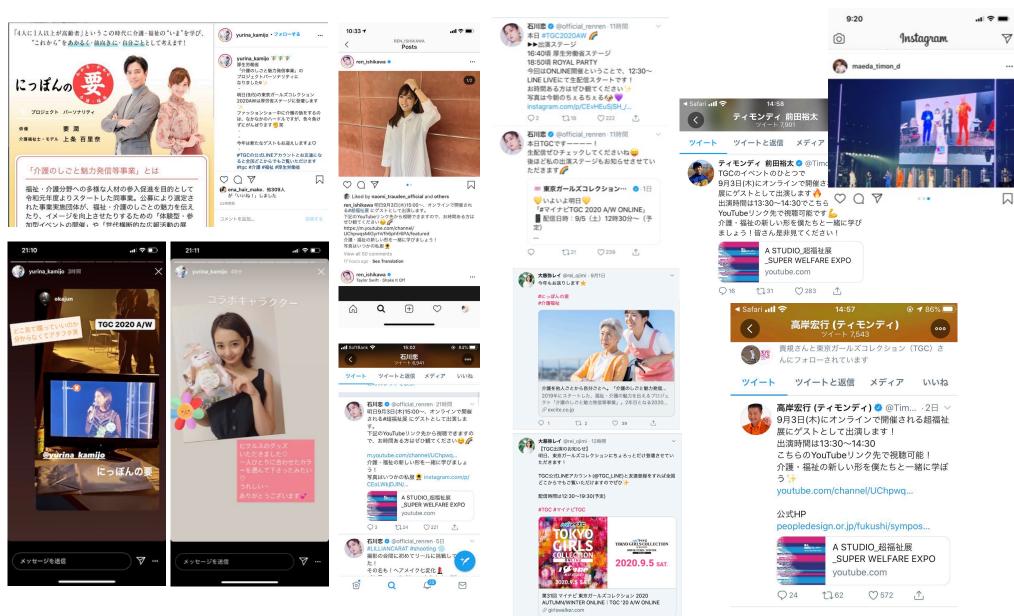
昨年ANGIE編集部では、BSフジの番組「にっぽんの要 わかる・かわる介護・福 祉」のパーソナリティーである要潤さんと上条百里奈さんにインタビューを行いま

COLLECTION

**KIRINZ** 



## 本プロジェクトに参加いただく著名人の皆様からも随時積極的に情報拡散いたします。



③事業内での具体的な実施事項 <企画委員会・体制図> 介護・福祉の専門家や実際に現場で最先端に立つ有識者だけでなく、イベントや番組作り、PR等のスペシャリストが企画委員として 企画委員会メンバー 参画します。プロジェクト進行中は定例会議を行い円滑なプロジェクト進行を実行します。

外部 アドバイザー <u>交渉中</u> 介護・福祉の現場での豊富な経験から企画に関してのアドバイス・監修をいただきます。

## 奥山 眞壽美氏

全国福祉高等学校長会 副理事長 千葉県立松戸向陽高等学校 校長

※以下主に各教育現場のキーパーソンの 参加も依頼中

## 加藤 千晶氏

アラドナ合同会社 代表 障害者、高齢者向けバリアフリー ファッション企画。人材育成のための 教育事業及び経営コンサル・プロデュース

## 布施田 祥子氏

株式会社LUYL デザイナー 麻痺による障害当事者で一娘の母。 オストメイト(人口肛門)使用者。

全体統括 進行管理 企画全体の取りまとめと進行管理を行います。

株式会社サンケイビルテクノ

綾田 大祐・田中 吉弘・石川 宙希

福祉分野 アドバイザー 超福祉展調整 様々な福祉プロジェクトを実施している見地からプロジェクトのアドバイザーとして参加。また超福祉展の企画責任者という立場から今回の出展に関しての調整も行います。

NPO法人ピープルデザイン研究所 代表理事ほか

須藤 シンジ

全体プランニング デザイン・制作 谷・高岸は様々な企画のプロデュース・プランニングを行っており、今回の全体のフレーム構築・プランニングを担当。 山本は公式HPの制作や各種デザインを行います。

株式会社イッツ

谷 篤史・高岸 弘治・山本 亜也

番組制作

数多くの番組プロデュースや制作の経験を生かし、主に番組制作部門での責任者として参加します。 株式会社BSフジ

山田 童雄

キャスティング TGC出展調整

広告・PR

主にキャスティングの交渉・調整を実施。またTGCとの関わりも深いため、今回のTGC出展に関しての調整も行います。

株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー他所属

青木 充

広告、及びPRのプランニングと進行管理を行います。

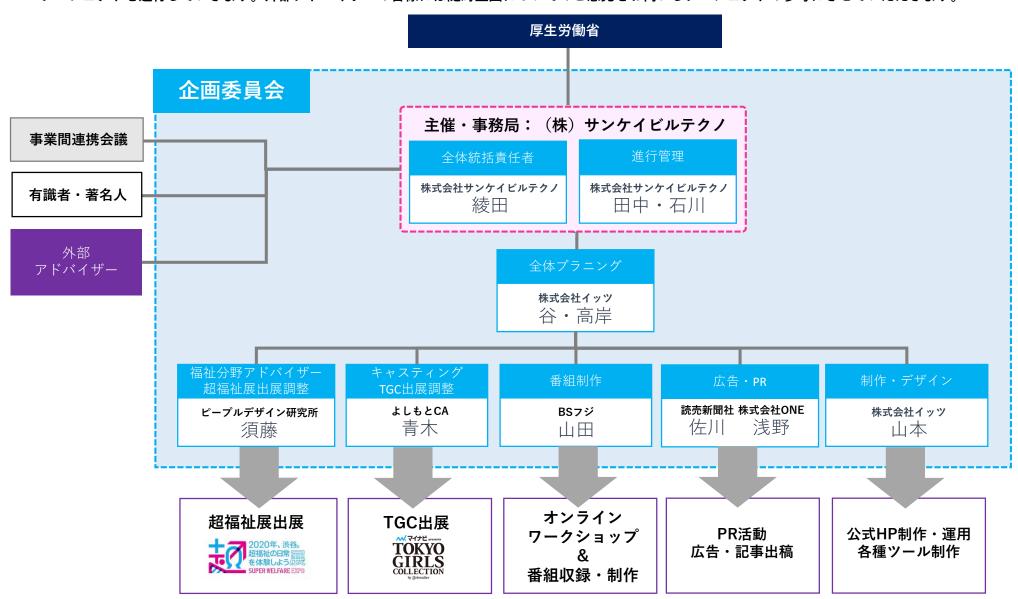
読売新聞東京本社 佐川 悦子

株式会社ONE 浅野 陽平

※介護分野では番組にも出演いただく介護福祉士・上条百里奈様にも ご意見をいただきながら企画いたします。

#### 実施体制図

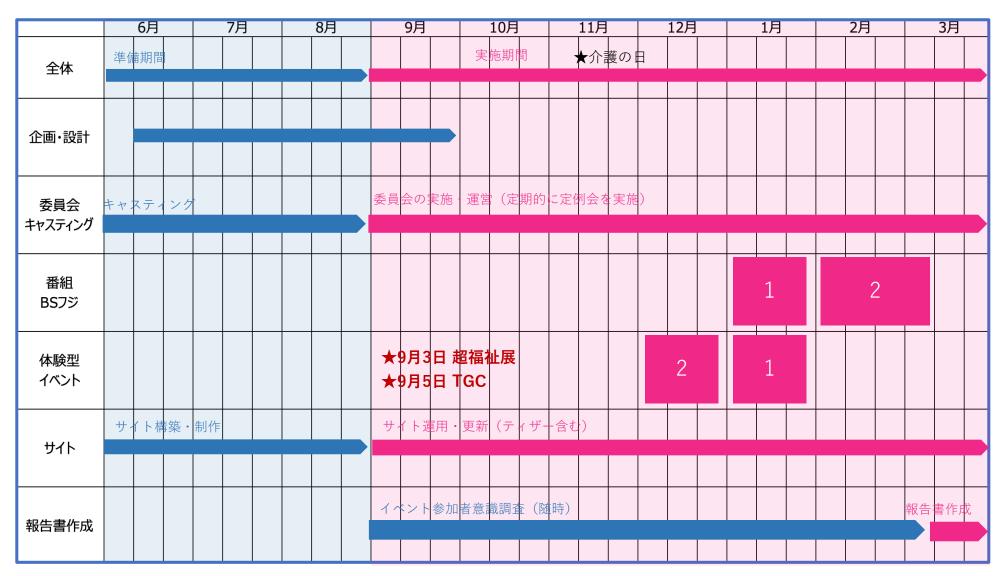
企画委員会として定例MTGを実施(進行具合により毎週、もしくは隔週で開催)し、各担当間の情報交換を行いながら プロジェクトを進行していきます。外部アドバイザーの皆様には随時企画についてのご意見をお伺いしプロジェクトの参考にさせていただきます。



※介護分野では番組にも出演いただく介護福祉士・上条 百里奈様にもご意見をいただきながら企画いたします。

4事業スケジュール

9月の「TOKTO GIRLS COLLECTION」「超福祉展」を皮切りに3回オンラインワークショップを実施。その様子を撮影し3本の番組制作の題材として活用します。9月以降は企画委員会を定例で実施予定です。(基本的に進行に合わせて毎週、もしくは隔週にで開催)



※スケジュールは多少の変更がある場合がございます。

⑤今年度事業の成果物及び将来的な成果物の 活用・展開計画 今回の取り組み内容を標準化し、全国の福祉高等学校や介護福祉士養成施設や

地域コミュニティ・企業・団体などとの連携の輪を広げることで取り組みの輪の拡大を目指します。



## 「介護・福祉 かえる委員会」の発足と活動

- ■若者を対象としたオンラインワークショップの開催
- ■学生たちの「こうなったらいいな」などのアイディアの抽出
- ■活動を紹介する番組の制作と放送



## 「介護・福祉 かえる委員会」の活動を継続

全国の福祉高等学校や 介護福祉士養成施設などの巻き込み (介護・福祉をかえるアイディア甲子園?)

地域コミュニティ・企業・団体など 賛同いただいた方たちの バックアップによる 学生たちのアイディアの実現に向けた活動

参加対象者や協力企業・団体を増やしていくことで 「わかる・かわる」「かえる」活動の輪を広げていく

- ■さらに多くの若者を対象としたオンラインワークショップの開催
- ■新たに学生たちの「こうなったらいいな」などのアイディアの抽出
- ■活動を紹介する番組の制作と放送

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社サンケイビルテクノ プロポーザル本部 営業部 綾田 大祐・田中 吉弘 TEL:03-5577-3013 FAX:03-5577-3200

メール: daisuke-ayada@sankeibldg.co.jp